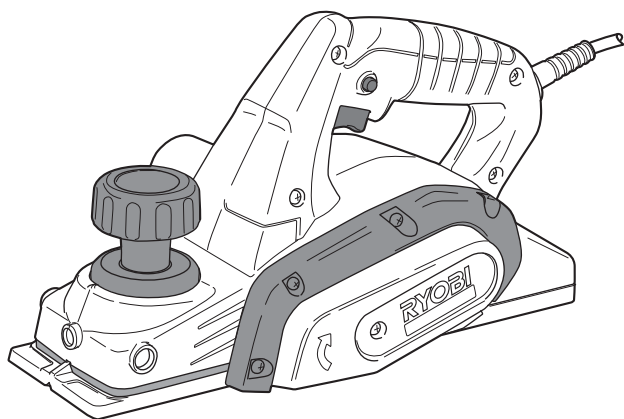


RYOBI

カンナ (フレーキ付)

ML-83S

取扱説明書



もくじ

■安全上のご注意	1～6
■各部の名称	6
■仕様・付属品・用途 別販売品	7
■ご使用前の準備	8
■ご使用前の点検	9
■ご使用前の調整	10
■操作方法	10～11
■切削作業	12～14
■別販売品について	14～15
■保守と点検	16～19

ホーム用

 二重絶縁

このたびは、リョービ カンナをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「（注）」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。



⚠ 警告

6. 無理して使用しないでください。

- ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

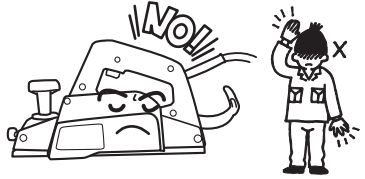
7. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。



8. きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



9. 保護めがねを使用してください。

- ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



10. 防音保護具を着用してください。

- ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

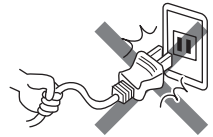


11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



13. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ・加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

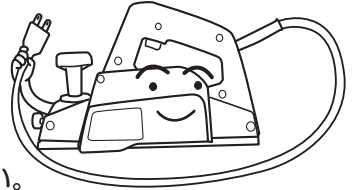
- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

⚠ 警告

- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・使用しない、または修理する場合。
- ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

- ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

⚠ 警告

23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申しつてください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

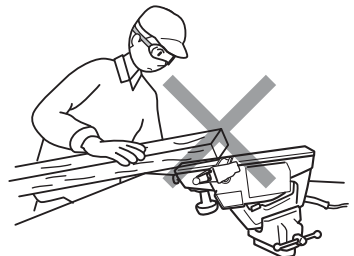
ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

カンナご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、カンナをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
3. 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
 - ・台が不安定ですと、けがの原因になります。
4. 材料を手にとっての切削はしないでください。
 - ・カンナ刃に触れ、けがの原因になります。
5. 本体を万力などで保持して、カンナ刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。
 - ・カンナ刃に手や身体が触れ、思わぬけがの原因になります。



警告

6. 使用中は切粉排出口に指などを入れないでください。
 - ・回転しているカンナ刃に触れ、けがの原因になります。
7. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

注意

1. カンナ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. カンナ刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
 - ・不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
3. 使用中は、本体の底面に手など身体を近づけないでください。
 - ・カンナ刃に触れ、けがの原因になります。
4. ベルトカバーの底面はカバーされていないので、使用中、手などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
5. カンナ刃の交換や刃高調整後は、カンナ刃取付ボルト（六角ボルト）を十分に締付けてください。
 - ・ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。
6. スイッチを切った後も、惰性で回転しているカンナ刃に注意してください。
 - ・手などが触れると、けがの原因になります。
7. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・けがの原因になります。
8. 本体を作業台や板の上に置いた状態でスイッチを入れると、不意に本体が動きます。本体を保持してからスイッチを入れてください。
 - ・けがの原因になります。

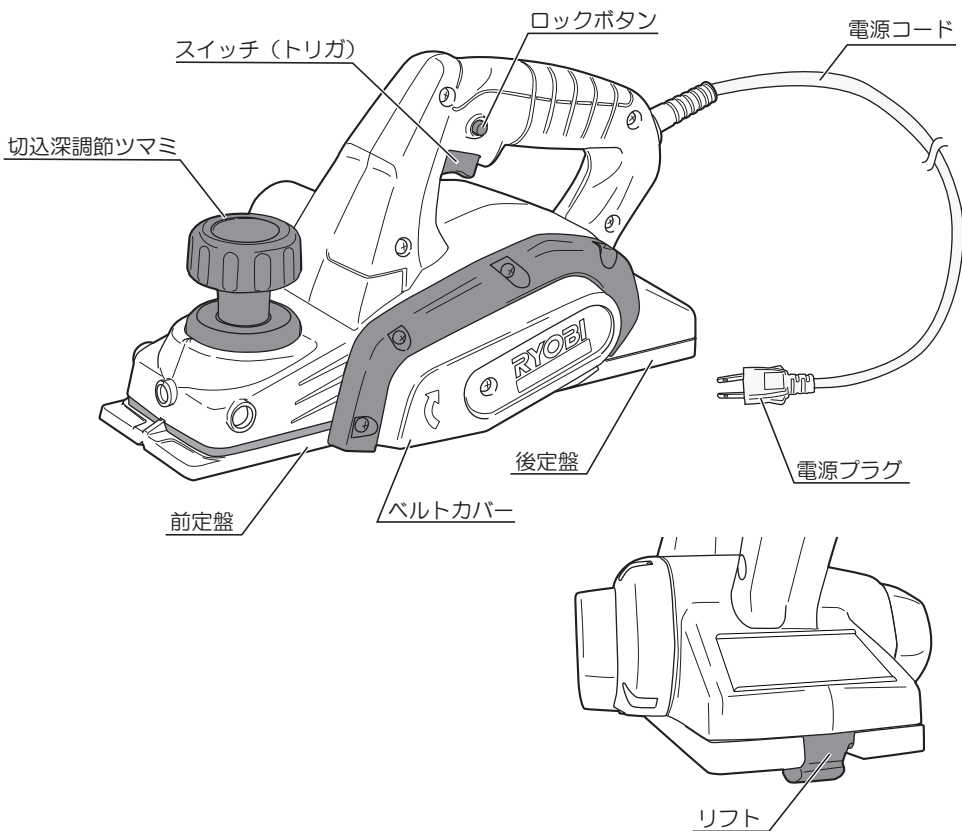
□ 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

延長コードは・・・

延長コードをご使用になる場合は、できる限り短く（8ページ参照）、本体取付コードより太い工具用のキャブタイヤコードをご利用ください。またドラム式の延長コードを利用される場合は、巻いたまま使うと熱を持ちますので、コードを全部引出してご使用ください。

各部の名称



仕様・付属品・用途・別販売品

●仕様

- ・電源 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・定格電流 4.7 A
- ・消費電力 450 W
- ・無負荷回転数 16,000 min⁻¹
- ・最大切削幅 82 mm
- ・最大切削深さ 1 mm
- ・機体寸法（長さ×幅×高さ）… 309 mm ×164 mm × 163.5 mm
- ・コード長さ 2 m
- ・質量 2.3 kg
- ・絶縁方式 二重絶縁

●付属品

- ・82mm替刃式カンナ刃（本体取付） 1
- ・ボックススパナ 1
- ・刃先調節定規 1
- ・⊕ドライバ 1

●用途

- ・木材の平削り、面取り、相ジャクリ

●別販売品

- ・替刃式カンナ刃（2枚1組）
- ・替刃（ホルダ付：2枚1組）
- ・サイドプレート組立（ノブネジ付） 14ページ参照
- ・ダストバッグセット 15ページ参照

ご使用前の準備

●作業場に関して

- ・作業場は整頓をし、明るくしてご使用ください。

●漏電しゃ断器設置のすすめ

- ・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。
漏電しゃ断器は、定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の市販品を使用してください。（労働安全衛生規則第333条、第334条、電気設備の技術基準第18条、第28条、第41条）

●延長コードについて

⚠ 警告

- ・延長コードは損傷のないものを用意してください。

- ・電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。
右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ (導体公称断面積)	最大の長さ
1.25mm ²	10 m
2.0mm ²	15 m
3.5mm ²	30 m

ご使用前の点検

⚠ 警告

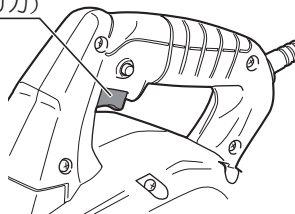
・ご使用前に次のことを確認してください。

1～**3** 項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

1 スイッチが切れていることを確かめます

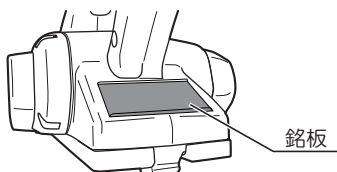
- ・スイッチが入っていることを知らずに、電源プラグを電源コンセントにさし込むと、不意に動き、思わぬけがの原因になります。

スイッチ (トリガ)



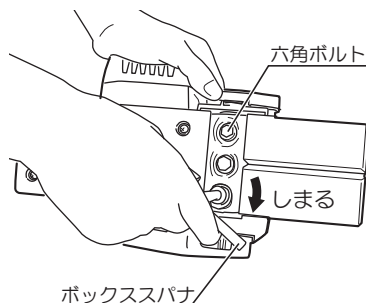
2 電源を確かめます

- ・必ず銘板に表示してある電圧 (100V) で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に高速となり、機体が破損する恐れがあります。



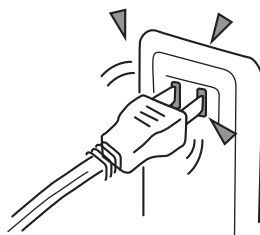
3 カンナ刃の締付けを確かめます

- ・六角ボルトで締付けてありますが、念のため、電源プラグを電源コンセントにさし込む前にボックススパナでもう一度締付けてください。



4 電源コンセントを確かめます

- ・電源コンセントががたついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。



ご使用前の調整

⚠ 警告

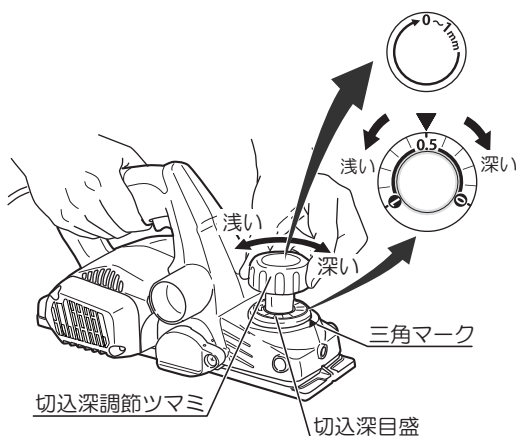
- 調整の際は万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●切込深さの調節

- 切込深さは、切込深調節ツマミを回し、切込深目盛を三角マークに合わせます。0.1mm刻みに0～1mmまで調節できます。

右に回すと切込みは深くなり、左に回すと浅くなります。

- (注) 切込深調節ツマミは、1回転以上回さないようにしてください。



操作方法

●スイッチの扱い方

⚠ 警告

- 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

- スイッチは引き金方式です。
トリガを引くと入り、放すと切れます。

連続運転する場合

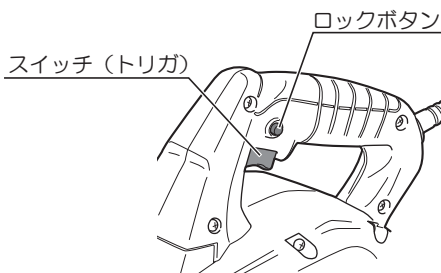
- トリガをいっぱいまで引いた状態で握り部側面にあるロックボタンを押すと、トリガから指を放してもスイッチは入った状態になります。

スイッチを切るとき（連続運転解除）

- 再度、トリガを引くとロックボタンが解除され、トリガから指を放すとスイッチは切れます。

ブレーキ付

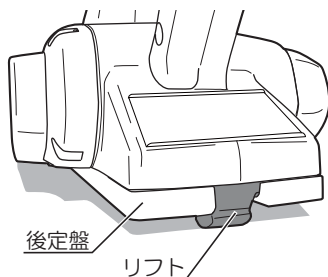
- スイッチを切ると、カンナ刃の回転を停止させるブレーキ機構を備えています。



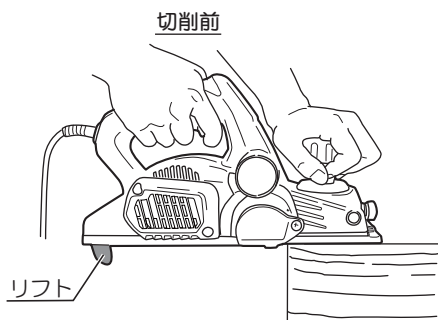
操作方法

● リフトの使用

- ・床面の刃物接触防止のため、後定盤の後側にリフトを取付けています。未使用時、リフトが下がっている状態で、本体を材料や床などに置いてください。

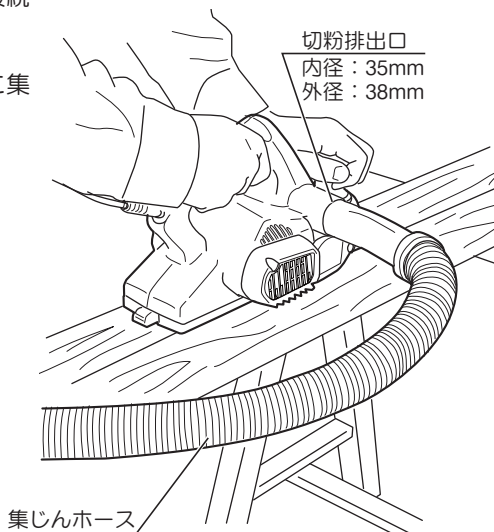


作業時のリフトは下図のように、材料が当たると自動的に上がります。



● 集じん機との接続

- ・本体の切粉排出口に集じん機のホースを接続すると粉じんの少ない作業ができます。
- ・切粉排出口（内径35mm，外径38mm）に集じんホースを接続します。



切削作業

⚠ 警告

- 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- 使用中は、本体を確実に保持してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。台が不安定ですと、けがの原因になります。
- 材料を手にとっての切削はしないでください。カンナ刃に触れ、けがの原因になります。
- 本体を万力などで保持して、カンナ刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。カンナ刃に手や身体が触れ、思わぬけがの原因になります。
- 使用中は切粉排出口に指などを入れないでください。回転しているカンナ刃に触れ、けがの原因になります。
- 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- 使用中は、本体の底面に手など身体を近づけないでください。カンナ刃に触れけがの原因になります。
- ベルトカバーの底面は、カバーされていないので、使用中、手などを近づけないでください。けがの原因になります。
- 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。けがの原因になります。

切削作業

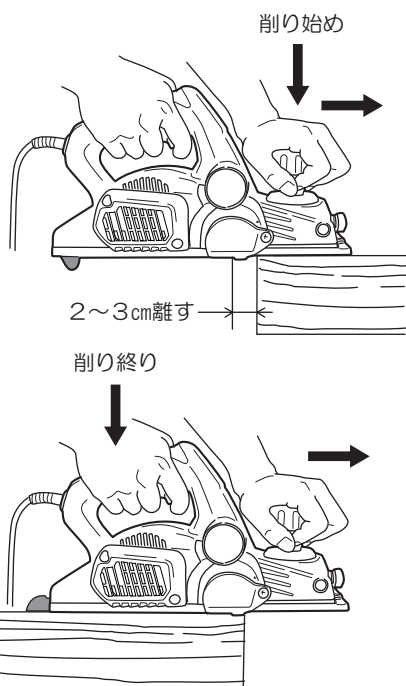
●平面削り

① カンナ刃の刃先を加工材より2～3cm離れた位置に前定盤を当てスイッチを入れます。

② 回転が一定になったら、定盤を加工材に密着させるようにして水平に押進めます。削り始めは前方に力を入れ、削り終りは後方に力を入れるときれいに仕上がります。

(注) 削り始めと削り終りのときに本体が傾かないように特に注意してください。本体が傾くと加工材の端を削りすぎます。

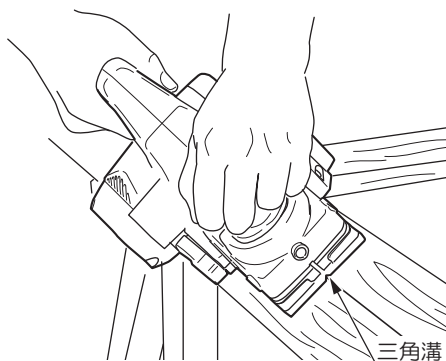
③ 切削時の切込深さは、まず荒削りで深めに(0.7～1mm)削り、後で仕上げ削りで浅く(0.2～0.4mm)削ればきれいな切削面が得られます。



●面取り加工

・前定盤の三角溝を、加工材の面取りをする角に合わせ削ります。

・切込深さを調節して面の大きさを決めてください。面取り幅は、6～8mmの範囲で調整可能です。切込深目盛0位置で6mm、切込深目盛1位置で8mmです。

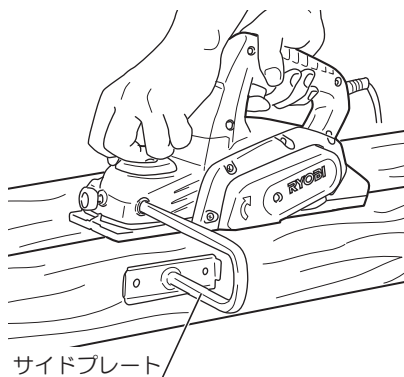
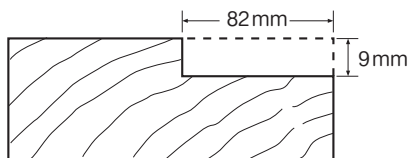


切削作業

●相ジャクリ加工

・下記、別販売品のサイドプレート組立を使用することで相ジャクリ加工ができます。

・相ジャクリ加工は最大幅82mm、最大深さ9mmまで可能です。



別販売品について

●サイドプレートの使い方

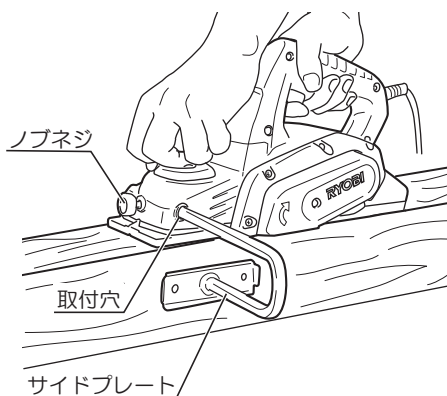
・70～80mm幅の長尺材を加工する場合は、別販売品のサイドプレート組立を使用すると、削り残しがなく、スムーズできれいな加工をすることができます。

(取付方法)

1. 前定盤上側の取付穴にサイドプレートをさし込みます。
2. 右図の様に、本体を加工材に合わせ、サイドプレートの案内面（内側）を加工材の側面に当て、サイドプレートの位置を調節します。
3. ノブネジを締め、サイドプレートを固定します。

(加工方法)

・サイドプレートを加工材の側面に沿わせて押進めてください。



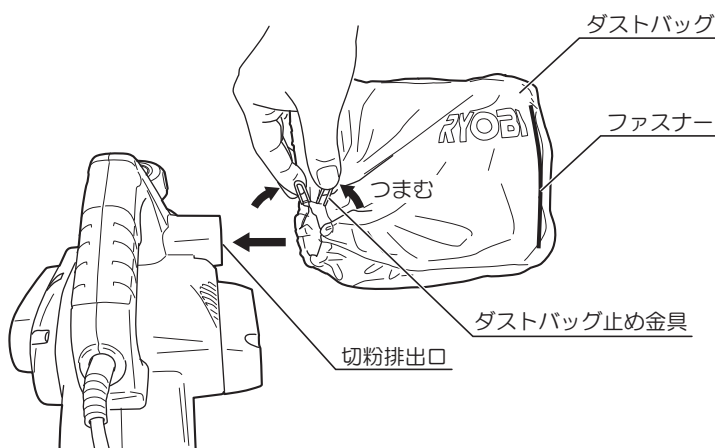
別販売品について

●ダストバッグセットの使い方

- ・別販売品のダストバッグセットを使用することにより、粉じんの少ない作業ができます。

（取付方法）

- ・ダストバッグ止め金具をつまんで、リングを広げ、本体の切粉排出口にダストバッグを取付けます。



（切粉の除去）

- ・ダストバッグ止め金具をつまんで、リングを広げ、ダストバッグを取外します。
- ・ファスナーを開き、切粉を取払ってください。

（注）ダストバッグに切粉をためすぎますと吸込みが悪くなるだけでなく機械の故障の原因となります。

保守と点検

⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

●カンナ刃の交換

⚠ 警告

- ・カンナ刃の交換の前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・専用のカンナ刃を使用してください。
- ・カンナ刃取付け後は、ボックススパナを取外し、カンナ刃がスムーズに回転することを確認した後、スイッチを入れるようにしてください。

⚠ 注意

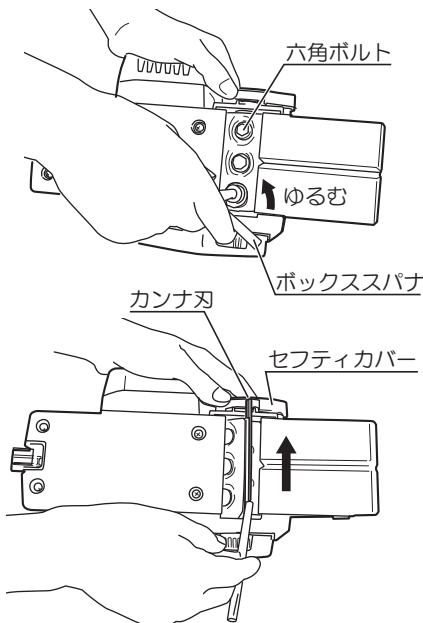
- ・カンナ刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。不用意に扱うと、切傷の原因になります。
- ・カンナ刃の交換は取扱説明書に従って確実に行ってください。確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。

(取外し)

- ① 安定した台の上に本体を置きます。
- ② 本体をしっかり持って、ボックススパナで六角ボルトをカンナ刃が取り出せるまでゆるめます。

(注) ゆるめすぎに注意してください。

- ③ セフティカバーを持ち上げ、カンナ刃をボックススパナの柄などでセフティカバー側に押し出して抜取ります。



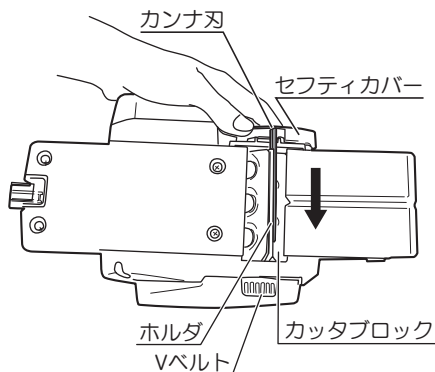
保守と点検

(取付け)

- ① セフティカバーを持上げ、セフティカバー側よりホルダとカタブロックの間にカンナ刃をさし込みます。

(注) 本機に使用しているカンナ刃は替刃式で両側が使用できます。カンナ刃の向きを変えるか、新しいカンナ刃と交換してください。

(注) カンナ刃をさし込みすぎたり、手前で止めると、スイッチを入れたとき、本体に接触します。カンナ刃はカタブロックの中央にセットしてください。

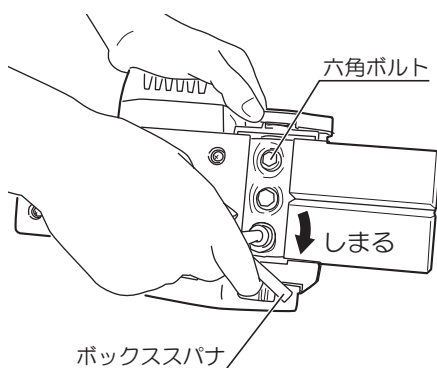


- ② ボックススパナで六角ボルトをしっかりと締付けます。

- ③ Vベルトを手で回し、反対側のカンナ刃も同様に交換してください。

(注) カンナ刃は2枚セットです。必ずセットで交換してください。1枚だけ交換をすると、バランスが悪くなり、振動の原因になります。

(注) カンナ刃の交換をしたときは、スイッチを入れる前にVベルトを手で回し、カタブロックを1回転以上させ、カンナ刃が周囲に接触しないでスムーズに回ることを確認してください。



保守と点検

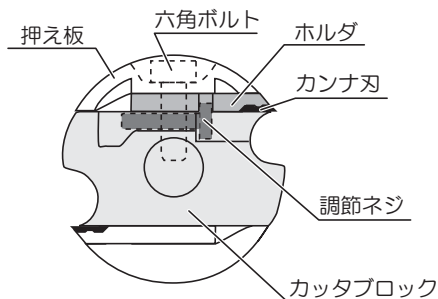
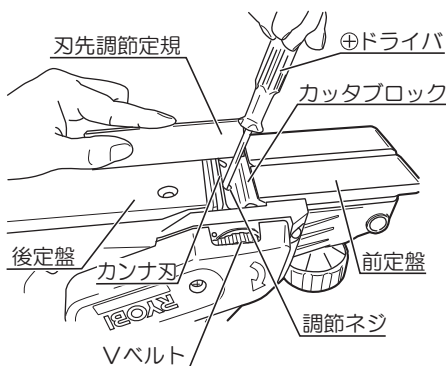
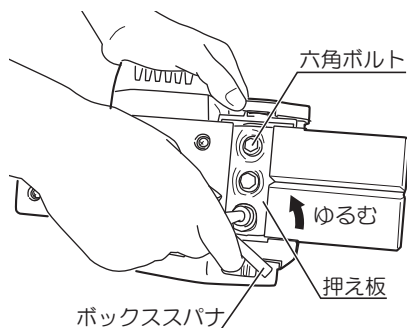
●刃先高さの調節

・カンナ刃を交換した場合に刃先高さが狂い、きれいな切削ができないことがあります。この場合には、次の要領で刃先高さを調節してください。

- ① 安定した台の上に本体を置き、しっかり持って、ボックススパナで六角ボルトをゆるめます。
- ② 刃先調節定規を後定盤にセットし、刃先調節定規が前定盤に当たらない位置で刃口に出します。
- ③ 刃先高さの調節は、⊕ドライバで2本の調節ネジを回して行ないます。調節ネジを右に回すと刃先は低く、左に回すと高くなります。
- ④ 刃先高さは、Vベルトを手で回し、最も高い位置で刃先調節定規に刃先が軽く触れるように調節します。
- ⑤ 調節後は六角ボルトをしっかり締付けてください。

(注) 最初に調節ネジを右に回して刃先を低くし徐々に左に回しながら（刃先を出しながら）調節してください。

(注) 調節後は、スイッチを入れる前にカンナ刃が周囲に接触していないか確認してください。



保守と点検

●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512
名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141
<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>